

まちの魅力がもっと見つかる きらきら☆景観まち探検 きら☆まち



横浜市の公式
YouTubeで
動画公開中！



① レクチャー



② まち探検



③ 話し合い



④ 発表



🏠 きら☆まちのねらい

総合的な学習の時間（総合学習）などでまち探検をしても「学校の周りは、魅力が少ない普通のまちだ」と思うことはないですか？そんなときは、きら☆まちの出番です。

大切なのは“まちの見方”です。景観の視点を持つことで地域の悪いところでなく、子どもたち一人ひとりにとっての大切な場所、つまり、まちのきらきらした良いところを見つけやすくなります。

🍎 効果

主に総合学習で、地域の課題や魅力を調査し、整理・分析する際に学びが深まります。まちに出てまちの魅力や個性を発見する体験により、自分のまちやまちの人に対する興味が生まれ、まちへの愛着（タウンプライド）が育まれます。

🎬 動画で説明

景観の視点や、まち探検・話し合いの際のポイントを、小学生の子どもたちにもわかりやすいように説明する動画を制作しました。総合学習でまち探検を行う際に、教室でこの動画を子どもたちに見せることで、スムーズに進めることができます。

📄 すぐ使える印刷用フォーマット

総合学習の準備は大変です。きら☆まちで使う「景観のキーワード」は、カードにしたり、市販の台紙でシールとして使えるよう、印刷用フォーマットを市のWEBサイトで公開しています。

🚶 流れ

- ① レクチャー：動画を用いて景観の視点を説明します。
- ② まち探検：班ごとにまちを歩き、写真やメモをとります。
- ③ 話し合い：まち探検で気づいたことを、シールなどにした「景観のキーワード」を使って大きな地図にまとめます。
- ④ 発表：班ごとに話し合っまとめたことを、クラスのみんなどに向けて発表します。
- ⑤ その後：総合学習の成果としてどう表現するかは先生と子どもたち次第。事例集を参考に、発見したまちの魅力を活かしてください。

😊 メリット

- ・ 毎日見ているまちを再発見し、印象が変わる
- ・ 大人も知らない情報を子どもが知っていることが多く、また、子ども同士で教え合える
- ・ 悪いところを直すだけでなく、良いところを伸ばす視点が生まれる
- ・ まち探検の成果をカードやシールを用いて見える化することで、その後の分析に役立つだけでなく、クラスの中で普段あまり喋らない子どもも簡単に意思表示できる

中面▶▶事例集



事例1 「キーワード」の活用例 ～景観を切り口に、街の良いところを探そう～

小学校名：横浜市立日枝小学校（南区）

学年：5年 1学級 35人

対象教科：総合学習

時間：3.5時間（WS）

総合学習の目標：日枝の街のイメージアップのために、街なかに誰もが目にとめるような大きな絵を飾る。

WSのねらい：まちづくりに対する主体性や価値観の多様さを理解する。

背景

総合学習では地域の問題を探して改善する方法を考えることが多く、このクラスでも1年間かけて、街の問題を改善することを目指していました。最初のまち探検で、子どもたちはいたずら書きを問題として見つけ、これを解決することを目指しました。しかし、街の問題、つまり大人の問題を子どもたちが解決することに担任の先生は限界を感じました。そこで、横浜市の景観担当職員がお手伝いし、景観を切り口にして街の短所ではなく良いところを探すWSを行うことになりました。

用意するもの

人数分：A4サイズの地図、感性のキーワード一覧

班ごと：A1サイズの地図、感性のキーワードのカード、iPad

■ワークショップの流れ

① レクチャー（20分）

私たちが見る街は、空間や営み、感性という要素で捉えることができることを説明。（例えば、同じ川[空間]でも遊んでいる人[営み]がいるかないかの違いで、受ける印象[感性]が大きく変わる）

② まち探検（100分）

子どもたちが班に分かれ、感性のキーワード一覧と地図とiPad（写真撮影用）を持って校内を歩き、わくわくしたり、ほっとしたり、誇らしく思うような、印象深いところを記録する。

③ 良い景観を選ぶ（30分）

撮った写真から、良い景観だと思う写真を班ごとに選ぶ。

④ 写真を見て、[感性のカード]を貼る（60分）

なぜその写真を選んだのか班ごとに発表。選ばれた写真について、他の班の子どもたちに見てもらい、[感性のカード※]を貼ってもらう。様々な感じ方や印象を「見える化」することで、街の写真（景観）について、様々な価値観、捉え方があることを知る。

※ [感性のカード]：わくわくする、ほっとする、誇らしい…などの[感性]のキーワードを一つ一つ切り分け、小さなカードにしたもの

■ワークショップ結果のいかし方

今回のWSで見つけた街の魅力や個性と、後日実施した街の方々へのインタビューを参考に、街のイメージアップとなるような大きな絵をアーティストの方と描き、街なかに飾る。



総合学習の最終成果として
街なかに飾られた絵



良いところを探す、まち探検



写真を見て感じたことを貼る



カードが貼られた写真

子どもたちの感想

- いつもは街の良くないところを探していたけど、良いところを見つけられてよかった。
- この学習を経験して、この場所の将来や理想を考えるようになった。
- 同じ景色でも、自分が思ったことと友達のそれが違って驚いた。

先生の感想

- 写真を見て、感じたことを[感性のカード]で貼る手法は、ゲームのようで子どもたちにとって面白かったのではないかな。また、普段考えを口に出さない子の意見も、カードを通して聞くことができて良かった。

事例2 学校再発見。南山田小学校の学校の中を「まち探検」

小学校名：横浜市立南山田小学校（都筑区）

学年：5年 1学級 32人

対象教科：総合学習

時間：2.5時間（WS）

総合学習の目標：学校を“まち”に見立て、
景観まちづくりの視点から、校内の景観を
よくすること。

WSのねらい：感性のキーワードを使い、
子どもたちにとって校内で印象深い場所を
探す。

背景

総合学習では地域の問題を探して改善する方法を考えることが多く、このクラスでも学校の周囲を探検し、公園などで行うことがないかを検討しましたが、公園の管理の点で調整が難しい部分がありました。そこで、子どもたち以外にも様々な人が集まる学校を“まち”に見立て、校内を探検して様々な場所の印象を「感性のキーワード」で可視化するWSを行うことになりました。

用意するもの

人数分：A4サイズの校内地図（校舎と敷地）、感性のキーワード一覧、9色の小さなマルのシール

班ごと：A1サイズの校内地図、感性のキーワードの凡例（9色対応）、iPad

■ワークショップの流れ

① レクチャー（20分）

私たちが見る街は、空間や営み、感性という様々な要素の組み合わせであることを説明。港北ニュータウンという土地柄、学校周辺の現在と過去の航空写真を比較し、歴史や地形の積み重ねの上に街が成り立っていることについても説明。

② まち探検（60分）

子どもたちが班に分かれ、感性のキーワード一覧と校内地図とiPad（写真撮影用）を持って校内を歩き、わくわくしたり、ほっとしたり、誇らしく思うような、印象深いところを記録する。

③ 校内地図に感性のシールを貼る（60分）

まず振り返りとして、それぞれ印象に残った場所を、「感性のシール（※）」を使ってA4の地図に貼る。次に共有として、班内で大きな地図に感性のシールを貼りながら、その場所で感じたことを話し合う。最後に、班ごとにシールがたくさん貼られた大きな地図と分析結果を発表。見慣れた校内でも、「どきどきする」のシールが多く貼られた体育館ステージや、「懐かしい」のシールが多い和室など、印象が強い場所や弱い場所などがわかり、色分けされることで校内の場所（景観）について様々な感じ方がることが可視化される。

※ [感性のシール]：わくわくする、ほっとする、誇らしい…などの[感性]の9つのキーワードを9色の小さなシールに色分けしたもの。

■ワークショップ結果のいかし方

シールによって可視化された校内の印象をもとに、校内のどこで何をするか議論し、最終的に中庭スロープに絵を描くことになった。

先生の感想

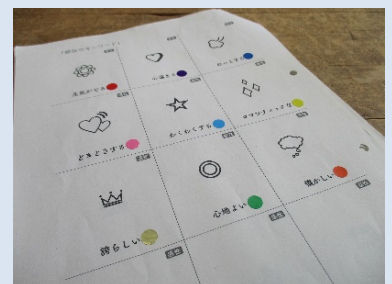
- まちの見方を講義してもらった後の校内まち探検であったので、見慣れた学校でも新しい発見がありとてもよかった。
- 「感性のキーワード」シールによる、学校の中の印象的な場所の可視化はWSの結果としてわかりやすく、議論の振り返りも簡単に。
- 校内の地図にシールを貼ったことで、シールの多いところ／少ないところなどの視点から議論ができた。その後の方針を話し合う中で、シールが少なく暗いイメージだった中庭のイメージアップを目的とし、「元気がでる」をテーマに絵を描くことを決定した。



校内をまち探検



大きな地図に、シールを貼る



感性のキーワードとシール



中庭スロープに描かれた絵

◆これまでの経緯

横浜市景観ビジョンでは、景観まちづくり学習を推進し、一人ひとりが地域の一員として景観まちづくりの担い手になることを目指しています。横浜市ではこの考え方にに基づき、教育現場の先生と共に「景観」をヒントにしたまち探検を実践したり、先生向けの研修や勉強会に参加するなど、よりよい景観まちづくり学習について対話を重ねてきました。

「きら☆まち」動画は、これまで教育現場の先生と連携し実践してきた取組を踏まえ、先生が総合学習のプログラムを組みやすくするための支援ツールとして作成したものです。



◆景観のキーワード（一例）

空間



建物・街並み



みち



商店街



社寺・史跡



路地・坂道



店先・縁側



広場

営み



遊ぶ



商う



集う



使う



憩う



語り合う



手入れする

感性



ほっとする



わくわくする



元気がでる



懐かしい



心地よい



誇らしい



どきどきする

◆景観まちづくり学習のヒント！

景観調整課のWEBサイトでは、景観まちづくり学習のヒントとなる様々な情報を提供しています。

<横浜市内の良好な景観>

● さがそう！ステキな景観～ヨコハマ景観探検隊～

18区にある景観上魅力的なおすすめスポットを紹介しています。

● 横浜・人・まち・デザイン賞

市内の地域まちづくりに関して特に著しい功績のあった活動や、良好なまちなみ景観を構成する建築物等を顕彰し、魅力あるまちづくりを紹介しています。

● 景観ビジョン実践ガイド

景観づくりの方法と事例を掲載しています。

<景観まちづくり学習のモデルプログラムと費用助成>

● 国土交通省では、「景観まちづくり学習」に取り組む際に手がかりとなる**11種類のモデルプログラム**を用意しています。

● (一財)都市文化振興財団では、上記モデルプログラムを活用して「景観まちづくり学習」に取り組む全国の小・中学校に対し、**1校につき10万円の費用助成**を行っています。

● **景観調整課では、学校で取り組む景観まちづくり学習・景観まちづくり助成に対する相談・支援を行っています。**

